

平成27年度 長岡市三島郡 算数・数学教育研究会 活動報告

部長 中野 薫

1 研究主題 「思考力、表現力をはぐくむ算数・数学的活動の工夫」 ～学び合い活動を通して（2年次）～

2 主題設定の理由

学び合い活動を通して、子ども同士がかかわり合い、互いに自分の思いや考えを伝え合ったり、共有したりする学習を充実させるために、<分かっている児童生徒が、わからない仲間に教える活動><同じ課題に対して、共同で課題解決をしていく活動>を考えていく。また、他とかかわる活動により、一人では気づかなかった新しい考え方を広げることによって、算数・数学への興味・関心が高まり、学習意欲の向上にもつながる。

以上の理由により、昨年度に引き続き上記の主題を設定し研究を行うこととした。

3 活動計画

(1) 総会 〈全員参加〉

- ① 期 日 4月23日（木） ② 会 場 栖吉中学校
③ 内 容 事業計画・研究主題等の検討 組織確認

(2) 常任委員会 〈11名参加〉

- ① 期 日 5月13日（水） ② 会 場 栖吉中学校
③ 内 容 研究主題の確認 授業研究校への協力と参加態様 役割分担

(3) 小学校算数授業研究会 〈28名参加〉（兼：県小研学習指導改善調査研究事業）

- ① 期 日 12月2日（水） ② 会 場 四郎丸小学校
③ 授業者 四郎丸小学校 野本 晶子 教諭
④ 指導者 長岡市教育センター 古川 真哉 指導主事
⑤ 内 容 授業公開 協議会

4 授業研究会の概要

(1) 公開授業

- ① 単元名 4年算数 「伴って変わる量のきまりを見つける」
② 協議題 書く活動を充実させるための手立てについて

(2) 協議会から

- ・提案性の高い授業であった。子ども達もよく考えていた。
- ・4年生にこの単元を学習するのはなぜか。何をどこまで求めたらいいのかを考えて授業をすることが大切である。
- ・授業改善に向かう職員集団のすばらしさ
- ・授業実践の中で有効と考えられる自校独自で考案した「考える技」の整理と活用

(3) 今後に向けて

全国テストB問題を活用して考えたり、書かせたりする授業づくりの工夫